



創立60周年記念誌

ANNIVERSARY
2011-2021

社会福祉法人 津山社会福祉事業会
津山ひかり学園

60th



あいさつ

社会福祉法人 津山社会福祉事業会
理事長 久常勝實

昭和36年、今から60年前、当時の津山社会福祉協議会会長でありました清田寂坦先生をはじめとして民生児童委員や地域の皆さんの募金活動やご寄付により、「障害を持つ子供たちの幸を願って」の合言葉のもとに知的障害児入所施設「津山ひかり学園」が創設されました。当時定員40名で園生は7名でした。

建設された現在地は、川崎町内の下山美登様の土地寄付をはじめ当時東津山地区の憩いの場であった遊園地でもありましたが、東津山地域の関係者の皆様のご理解とご協力をいただき実現いたしました。

その後、昭和43年には「親の会」が結成されるなど運営環境も整っていき、また、行政の力強い援助・指導を受けるとともに資金面では民間団体の資金援助を受ける等して、今日の津山ひかり学園の諸施設の充実が図られました。

そして、昭和63年4月1日、津山市社会福祉協議会から施設・事業部門が分離独立することとなり、現在の「社会福祉法人 津山社会福祉事業会」が設立され、3保育園と当津山ひかり学園を経営することになりました。その後、新たな事業も加え多くの事業を展開してまいりましたが、最近では老朽化が進んだ「ひかりの杜」「ひかりの風」の改築を行うことができました。

昨年からコロナ感染の拡大が続いており、事業会としては利用者（児）の方々をはじめ職員の感染防止に努めておりますが、利用者（児）や家族の会の皆様が楽しみにしているふれあい行事の「運動会」、「お涼み会」、「感謝祭」等を開催することができませんでした。一日でも早くコロナ禍が終息し、利用者（児）の皆さんが一同に会し楽しく集える様願っています。

今後、ポストコロナ社会を見据えるとともに、利用者の高齢化と重度化にどう対応するかが大きな課題であり、家族の会をはじめ関係各位のご指導、ご協力をよろしく願います。



祝 辞

津山ひかり学園 家族の会
会長 青山 鶏太郎

本日は、ここに創立60周年を迎えられました、津山ひかり学園の記念誌発刊にあたり、一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

60年前にさかのぼれば、津山市の一教師により障がいをもつ子供らに「この子らを世の光に」と訴えられて、昭和34年1月に「精神薄弱児収容施設建設助成」の請願が津山市長に提出されました。以後、精神薄弱児施設建設が津山市社会福祉協議会を中心とし津山市長ぐるみの取組みとしてはじまり、昭和36年に開園をされたと聞き及んでいます。当時は福祉政策も、まだ充分でなかった中で直面する障がい児（者）の課題の解決に願いを込めて、大勢の津山市民の皆様のご理解と、ご支援を頂きながらの懸命なるご努力、ご尽力をされてこられました賜であり、誠に喜ばしい限りでありますと同時に心より敬意を表する次第であります。

近年、我が国の目覚ましい経済の発展と共に、障がい者福祉施策も増進をし、福祉文化市を目指す津山市のもと、津山ひかり学園の中でも福祉作業所、生活実習所、作業訓練所等の施設充実と共に、介護支援、援護活動などきめの細かい支援に感謝一杯であります。しかしながら障がいをもった利用者が立派に社会人として生活していくためには、社会一般の方々の正しい理解と温かいご協力が最も大切であろうかと存じます。その意味からも深いご理解とご指導を頂いております、津山ひかり学園役員の皆様方をはじめ、職員の皆様方に心から感謝とお礼を申し上げます。

どうか、この60周年記念を土台といたしまして更に、誰しものが生きる喜びに溢れる社会となりますようご協力、ご支援をお願い申し上げますと共に、津山ひかり学園がますます充実発展されますことを祈念いたしまして、家族の会のご挨拶といたします。

2011.4 ● グループホームぱあとなあ開所

ひかりの杜改築 ● 2013.3



2015.2 ● グループホームはいだ開所

ラルーチェめぐみ開所 ● 2015.3



2016.4 ● 津山障害者就業・生活支援センター出張所開所

ラルーチェのぞみ開所 ● 2017.7



2018.4 ● グループホームかしのき開所

グループホーム川崎閉所 ● 2018.4



2018.5 ● グループホームぱあとなあ移転開所

グループホームあすなる移転開所 ● 2018.8



2019.4 ● Tétotéオープン

ひかりの風改築 ● 2021.7



to the next 10 years

基本理念

津山社会福祉事業会は、利用者が必要とする多様な福祉サービスを総合的に提供し、地域福祉の推進に努めます。

経営方針

- 利用者主体の事業体づくり**
地域社会の一員である利用者の意思を尊重し、一人ひとりのニーズに応えられる事業体づくりを進めます。
- コンプライアンスの徹底**
法令等に基づく透明性の高い運営を行い、地域から信頼と理解が寄せられる健全な法人を目指します。
- 人材育成と専門性の向上**
人権擁護の担い手として、利用者主体の支援ができる幅広い視野をもち、専門性の向上を目指す職員の育成を図ります。
- 地域への貢献**
情報公開に努め、地域社会の福祉資源として関係機関と連携し、地域に開かれた事業を着実に進めます。
- 事業の継続と発展**
質の高い総合的な事業を継続的に提供し、発展的で活力ある法人経営に努めます。

津山ひかり学園事業体制図



津山ひかり学園ひかりの風

ひかりの風 園舎



改築前



改築後

壁面作り



津山まなびの鉄道館にて



お花見



バーベキュー



書き初め



節分



ミニ運動会



調理実習



演奏会



津山ひかり学園 感謝祭



津山ひかり学園ひかりの杜

建物外観



H25.3.25 竣工

行事

お涼み会



還暦・長寿を祝う会



作品展

力作が
並びました



クリスマス会



手芸



さをり織り 心をこめて織りあげます

委託作業



日中活動

交流



保育園の園児と一緒にさつまいもなどを
植えたり収穫します

農園



余暇



習字 一筆一筆丁寧に好きな言葉を書いています



おやつ作り

メゾンきさらぎ

日常生活

歓送迎会 (鶴山ホテル)



秋の旅行 (ハウステンボス)



就労先での様子

食事作り



年間行事

ダンス教室



習字作品



余暇活動

ブラッシング



流しそうめん



バス通勤



ぶどう狩り



ハロウィンパーティ



地域交流



津山だんじり



津山ひかり学園ひかりの丘



A型事業 (ちゃれんじ結)

焼き菓子製造・販売業務と布団消毒乾燥・シーツレンタル業務および東部運動公園の環境整備を行っています。

お菓子とパンの店 Tétoté



お菓子の生地づくり



2019年にフリースペースを併設しました



シーツ洗濯とたたみ作業



乾燥車にて布団消毒乾燥

リネン



ハウスで花や野菜の苗づくり



玉ねぎ収穫

きらもく班
野菜・各種
苗づくり・
木炭・自家製味噌の
販売を行って
います。

さくら班

食パン・菓子パン・クッキー・ラスクなどの製造と販売を行っています



心を込めて作っています

B型事業 (ちゃれんじ宙)

4班に分かれて自主生産・販売や委託作業を行っています。元気で生き生きと楽しく働いています。

じねん班



委託作業（フルーツキャップ）やぼかし作業を行っています

トンボゴム班



委託作業（トンボ）ゴムの縫製や検品を行っています

ひかり学園さつきの丘

みんなでひなまつり



上手に書けたね♪



みんなで余暇活動♪



夏はスイカ割りだね



ゆうあい福祉展



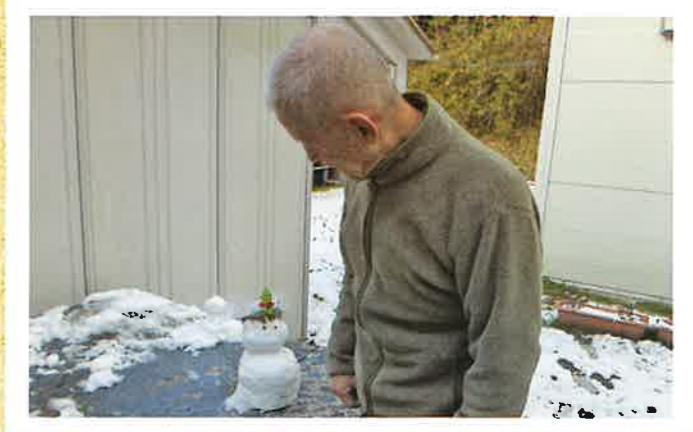
無病息災を願って



みんなで作業の時間



雪だるまができたよ



稲刈り体験したよ



外食したよ!



焼きそば美味しそう!



いいセンスだね!



美作地域生活支援センター

事務所外観



相談風景



移行支援会議



相談支援部会



担当者会議



津山障害者就業・生活支援センター

出張所開所式



H28.3.30

関係機関連絡会議



真庭地域在職者交流会



障害者ワークフェア・インおかやま



交流旅行



ラルーチェめぐみ

児童発達支援事業

個別療育



集団療育



放課後等デイサービス

学習支援



療育場面



運動療育

制作活動



調理実習



デイキャンプ



野菜の収穫



水遊び



秋の遠足



クリスマス会



園内行事と地域交流

50周年を節目に

行事の形も様々に変化しながら取り組んで来ました。



お涼み会



ごんごまつり



感謝祭



運動会





新成人を祝う会



地域の方からのたくさんの ご協力に感謝いたします



東津山駅周辺の清掃活動と 町内の方との交流





編集後記

津山ひかり学園は創立60周年を迎え、現在まで多くの方たちに支えられ歩んできました。

そして今、10年前には予想もしていなかった、新型コロナウイルスと人々の闘いの渦中に私たちはいます。環境の変化が目まぐるしい中で、10年後がどんな環境になっているか私どもの想像でははかり知れませんが、どんなに環境が変わろうとも、私たちがやるべきことは利用者と共に笑顔で過ごせる未来を創るために職務を全うする事です。この事を忘れぬように、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

そして、ひかり学園を取り巻く木々の緑や空の青さと同様、いつまでも変わらない人と人との繋がりをこれからもしっかりと引き継いでいきます。

最後になりましたが、いつも変わらず支えてくださっている皆様、記念誌の発行にご尽力くださった皆様へ感謝を申し上げ編集後記とさせていただきます。

令和3年11月吉日

